

2015.1

編集発行人・吉田隆司

毎月1回、1日発行
定価1部100円/1年1000円(送共)
郵便振替 東京00100-0-38184

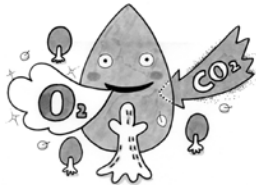
〒112-0004東京都文京区後楽1-5-3
TEL. 03-3814-3591
FAX. 03-3814-3590

Website: <http://www.rizhong.org/>
E-mail: info@rizhong.org



2014.12.13
田原先生講演会が開催されました

A先生の新語コーナー



tànzhōnghé

“碳中和”

カーボンニュートラル。二酸化炭素の排出量と吸収量が
プラスマイナスゼロになること。中国グリーン炭素固定基
金は昨年11月3日、北京市怀柔区でカーボンニュートラ
ル林の植樹式を行った。北京でのアジア太平洋経済協力会
議(APEC)期間中に排出された二酸化炭素を相殺する
ことが目的。植物の光合成(二酸化炭素を吸収して酸素を
吐き出すこと)に着目したもので、植樹造林面積は約85ヘ
クタールとなる予定。(A)

明けましておめでとうございます!

日中関係が改善されますように!

2014年日中学院は止まらない受講生の減少に苦しみながら過ぎた1年でした。

昨夏実施された日中共同世論調査(言論NPOと中国日報社の共同実施)によれば日本人の「相手国に対する印象」は、「良くない」が93%、中国人では「良くない印象」は86.8%であったとのこと。今後の日中関係の見通しについて、日本人も中国人も「さらに悪くなる」と感じている人が増加しているのも悩ましいところ。11月に発表された日中両政府の合意文書が日中関係の改善に役に立ってくれることを願わずにはいられません。受講生減少の原因にこの数字に表われた日中国民感情が影響していることは、日中学院のこれまで受講生数の推移から容易に理解できることです。日中学院運営会議は2014年度の活動計画、予算を組むにあたり、日中関係の悪化にも運営努力で応えようと前年度を上回る努力目標を掲げました。教職員給与支出を抑制する一方、総受講者数減少の中でも開講講座数を縮小せずにやってきました。本科生は、就職先は厳しいものがあるものの、出口の一つ、大学3年次への編入は東京外大、大東大、京都外大と順当に進んでいます。また授業以外の活動に力を注ぎ倉石武四郎先生没後40年を記念した連続講演会、別科朗読大会、文化祭等様々な工夫をした活動に取り組み現在も継続中です。これには日中関係が芳しくない中でも、日中学院の役割はしっかりやっていきたいとの思いがあります。



2015年日中学院は昨年と同規模のクラス数、活動を維持の予定です。目新しくは短期の入門シリーズ講座を開設します。ちょっとお試して中国語を学んでみようかと、そんな方を歓迎しようというものです。また、一回完結シリーズ講座も計画中です。これは、日中学院をさらに外に、地域に向けて開こうという試みです。後楽寮には多くの優秀な中国人研究者が滞在しています。この講座では学院講師とともに後楽寮生等にも登場していただき、語学関係にとらわれず中国の文化、芸術、医学、社会等、得意分野を中国語、日本語で語っていただきます。学外との協力関係も進んでいます。中国の外国語専門8大学の一つ、天津外国語大学と交流協定案について基本的な合意をしました。合意項目の一つは、「日中学院本科を卒業し一定のレベルに達した学生は、天津外国語大学の3年生への編入が認められる」というものです。中国で中国語だけでなく、ついでにフランス語を習得してしまえというような、少し野心的志をもった若者向けになるでしょう。日本語科も対外との協力関係を模索、強化します。その際、必要になるのが日本語教育だけでなく、大学・大学院へ進学のための指導、寮設備、奨学金制度等、日中学院としての受け入れ環境整備です。赤字決算が見込まれる中、これらの事業実施計画を立てるのは、“日本と中国との架け橋の役割”を果たしたいという思いからです。そんな中、先日ひらかれた書画展示会へ所蔵品をよせられた竹中憲一先生からご寄付の申し出をいただいています。ありがたいことです、教育基金として役立てる予定です。

2015年、こんな日中学院ですがよろしくお願いします。皆様、ひとつ年を穏やかに過ごせますように!

2015年1月1日

日中学院長 吉田隆司
教職員運営会議



2015年の年頭にあたり 日中学院校友会会長 名和 巖郎

2015年を迎え、日中学院教職員、学生、校友のみなさまが健康で活躍されますよう心からお祈り申し上げます。

田畑光永さんは、先日の講演会で、「1950年代後半に東方学会の倉石講習会に通った。当時中国語を学ぶことは、頑迷な岸内閣を倒し日中国交回復実現に尽力することが共通認識だった」と語られましたが、私も当時、ほんの短期間倉石講習会で学び、将来この国で新しい世の中が実現することを夢見ていました。……50数年後の今日「大道廢レ仁義有」「国家昏乱シ忠臣有」（老子）るか否か定かではありませんが、このような時代こそ歴史をきちんと学ばねばと期しております。螻蛄の斧であっても。

2014年の校友会活動について簡単に報告します。

第18回中国旅行：4月中旬に校友会旅行委員の猪飼さんの引率により竜門石窟、殷墟、清明上河園など『河南省古都に歴史を訪ねる旅』（泊6日21名参加）を行ないました。

講演会：7月19日田畑光永さん（ジャーナリスト）の『日中対立の根源を探る—歴史の中の日中関係—』と題する講演会に多くの方がお見えになりました。2015年春に次回講演会を予定しております。

文化祭：『ピースリーディング』（『へいわってなにか』中国語・日本語による朗読）は、教職員、本科・別科学生、校友と小学生3名が参加。1階ロビーで例年どおり模擬店『おにぎり屋さん』

を出店。写真展は、会員展(1階ロビー『校友会河南省の旅』『今日の上海』『奠』『天気の良い日に花を撮ろう』『青海省タンカ芸術展を観る』)と回顧展（201教室 校友会『古田会議会址』『貴州苗族郎徳上寨民族風情旅游村』など）に分け展示しました。

日本語科留学生との文学散歩：11月24日（祝）に『江戸史跡さんぽ』を行いました。参加者は日本語科学生8名、日語講師3名、校友会4名、会員の友人の中国人留学生1名で、好天に恵まれ、学院から神田明神、湯島聖堂を散策、昼食後淡路町界隈の老舗を垣間見て昼食、自然野菜中心のバイキングを堪能し、最後に山王日枝神社を至る楽しいコースでした。

日中学院校友会は1986年に誕生しました。校友会は、会員相互の親睦交流を深めるとともに、日中学院を賛助し、日中友好の架け橋として、中国語及び中国文化等の研究・普及活動の発展に寄与することを目的とするもので、この会に加入した現・旧教職員及び学生により組織運営されています。学院生は本科別科を問わず、誰でも加入できます。多くの校友のみなさんの参加を歓迎いたします。

2012年9月校友会のホームページを立ち上げました。日中学院校友会をクリックすると、旅行報告をはじめ校友会の最新の情報をご覧いただけます。日中学院HPからもご覧になれます。

2015年元旦

2014年7月に行われました、校友会主催の田畑光永先生の講演会の記事を掲載した、学院報を読んだ千葉の高校生からお手紙を頂きました。若い世代に歴史を伝え継ぐ事の意味を改めて感じました。一部ご紹介したいと思います。

この度お手紙をさせて頂いたのは、母が持ち帰りさせて頂いた、日中学院報475号の感想を伝える為です。私は今まで、歴史的書物を真剣に読んだことがありませんでした。なぜなら私にはその情景が全く浮かんでこず、過去を知って何が楽しいのか、さっぱり理解できず、すぐ飽きてしまい、挙句のはてに一体何だったのか、さっぱり理解できないからです。本当に私は歴史が苦手です。書物を読む気すらわきません。ですから正直読むことに抵抗がありました。ですが、実際に読んでみると自分でもなぜだかわからないのですが、かなり集中して読んでしまいました。学校で教わる内容とは違った日本の本当の姿。私は今まで中国が日本に怒る理由は単なる戦争でのめ事なのかな？と思っていたのですが、日本は昔、すごく身勝手な行動をしていたのですね…。70年たった今になって声を荒げるのも少々疑問に思いますが、日本はこれを忘れてはならないと思います。また、きちんとした過去を国民に教えるべきだと思います。（後略）

中国書画展示会報告

11月7日から9日までの三日間、日中友好会館美術館で竹中憲一先生所蔵書画展が行われ、200人近くのご来場を戴いた。展示品は、先生が中国で日本語を教えていた折に書家の家やいろいろな会場で書いて戴いたりした物とご自分で蒐集されたものである。以前、故藤堂学院長が日中学院の財政が厳しかった折に展示販売会をされ、そのために竹中先生に依頼して集めた物も含まれるが、時間的に間に合わず、藤堂先生との約束は果たすことが出来なかつた。竹中先生はその約束を果たしたい、これが今回の展示会に至った理由である。



小池晴子氏の著書「中国に生きた外国人―不思議ホテル北京友誼賓館」の舞台である友誼賓館にはいろいろな老專家が居られ、竹中先生は日本語を教える傍らでその方たちとのインタビュー、自分の書籍等を利用した自室での図書室の運営、北京の各地を探索（「北京歴史散歩」として上梓）等八面六臂の活動をされていた。インタビューは順次出版するご予定と聞く。

今回の展示会ではよくぞこれだけの方に書いて戴き、保存されていたという書画や書き手の思いが伝わってくるすばらしい作品の数々を間近で見ることができた。啓功（愛新覺羅）の書、徐悲鴻の弟子が書いた馬、古干などきつとご来場戴けた方々にも楽しんで戴



けたことと思う。ただ来られた方を案内して知識の不足からきちんとご説明することも出来ないことも多く、それは恥ずかしく申し訳なく思った。

さてせっかく竹中先生にご寄贈戴いたが、残念ながら日中学院にはこれを維持管理する力が不足し、これら作品は惜しくも手元を離れることになる。初めての披露であり、また纏まって見ることが出来る最後の機会でもあった。

幸い日中学院校友会の名和会長に綺麗に撮影頂いた写真をデータで残すことが出来たので、たとえ目の前で見る迫力に負けるにしても紙でもデータでも形にして残していただければと願わずにはいられない。

最後に吉田学院長、事務局の皆様、病氣療養中である竹中さんのヘルパーの方々をはじめ多くの方のご助力を戴いたことに感謝申し上げます。

昔々の別科落第生 加藤正克



酸甜苦辣五七五



我在学汉语 私は中国語を習っている
声调拼音没问题 声調、発音は問題ない
梦想定实现 という夢はきっと叶うだろう 北原健児



作者は、日中学院の早朝クラスの学生で、いつも早く教室に入り、授業が始まる前に既に学ぶ準備運動を終わらせている熱心な方です。中国語学習の厚い壁は、声調であり、それを正しく発音できるようになりたいという切望を込めて、この句を作ったとおっしゃっていました。

「声調なしで成長なし」という私の熱い主張に賛同してくださって、発音学習会にも積極的に参加され、発音矯正に励まばかりでなく、後輩の成長のために尽力してくださっています。

また、外国語で自分の文化を紹介する大切さを理解してくださり、日本の風習や伝統文化、地域文化の紹介にも熱心な方で、いつも楽しそうに学んでおられる姿勢には頭が下がります。熱心な学び手の方々のおかげで、教える側も身が引き締まります。

1. 我是独生女 父母非常疼爱我 任性的孩子 吉原裕子

ご両親に大事に育てられた一人娘、元国語教師の作者は、退職後も早朝クラスで語学に励んでおられます。生涯学び続けようとする姿勢を身に着けておられるのも、ご両親の教育、愛の賜物でしょう。

2. 妻子去出差 周六周日都有空 寂寞又困惑 神津佳弘

奥様の出張中の週末、自由はあるものの、寂しくもあり、困ってしまうこともあるようです。その寂しいという表現に愛情が感じられますが、その一方の困惑とは、何か聞いてみたいですね。

3. 在海里游泳 我从海底向上看 蔚蓝的世界 山崎木绘

透明な青の世界に射し込む太陽の光、幻想的な光景がありありと目に浮かびます。あまり泳げない私も、一度は真っ青な海に飛び込んで、美しい世界を眺めたいものです。

4. 今年夏天来 啤酒烤肉多愉快 减肥真困难 荒川詠美

暑い日、ビールと焼き肉を大いに楽しんだ夏は過ぎ去りましたが、食欲の秋は、まだ始まったばかり。ダイエットはなんて難しいんだ、というため息には、多くの賛同が得られることでしょう。

5. 我跟好朋友 高高兴兴打高尔夫 每次心情好 高畑邦雄

心の通いあう友達とゴルフをするのは、何より楽しい。お互いに褒め合うのも嬉しいし、試合の後のビールも格別美味しい。次の約束をして、心地よい疲れとともに帰宅する姿が目には浮かびます。

6. 每周打网球 付钱付钱再付钱 这才能减肥 加来耕司

テニスを楽しむというより、ダイエットが目的なのでしょうか。費用もかかり、あまり楽しんではいらっしゃらないようです。美味しいものがあふれる現代、バランスを取るのは大変なようです。

7. 运动和学习 我喜欢的是都要 努力和坚持 篠原信

「文武両道」よく学び、武道を通して体もしっかり鍛えるという伝統が日本にはあります。勉強して疲れた後、軽い運動をすると、疲れが取れるようで、大変合理的なやり方ようです。

8. 运动身体好 坚持下去很重要 要超越自己 小島弘子

健康には運動が良いとわかっていながら、継続は難しい。スポーツも勉強も、放棄しない、諦めない、自分との戦いであり、「自己超越」の長い旅でもあります。道中ご無事で頑張りましょう。

『聴く中国語』(11号P92,93より)

図書室 だより

芥川賞作家

楊逸&ザ・タイガースのピーこと
瞳みのる のコラボで生まれた

『中国ことわざばなし 古為今用』

楊逸著／清流出版



本書は小説『時が滲む朝』で日本語以外の言語を母語とする作家として史上初の芥川賞を受賞した楊逸が、日本在住27年の暮らしのなかで感じる出来事を中国の60のことわざに例えて綴ったエッセイ集です。その中で、むずかしい中国語の成語・諺に書き下し文を

担当したのが、往年のグループサウンズのスター、ザ・タイガースのピーこと、瞳みのるです。グループを解散後、芸能界からきっぱりと姿を消し、漢文や中国語の教師としての道を歩んだ瞳みのるにカリスマ的な魅力を抱いたファンも多く生まれました。本書はムズカシそうなことわざもわかりやすく日常の生活に映して紹介しているので、面白く楽しく読め、理解することができます。

— 新着図書ご案内 —

『NHKワールド・ラジオ日本 中国語リスニング』
永倉百合子・胡興智共著／語研

『誤用から学ぶ中国語 続編1』 郭春貴著／白帝社

『新訳 紅樓夢』第1冊～第7冊

曹雪芹作・高鶚補／井波陵一訳／岩波書店

『ドラゴン解剖学 登竜門の巻 中国現代文化14講』

中国モダニズム研究会著／関西学院大学出版会

『貧者を喰らう国 中国格差社会からの警告 増補新版』阿古智子著／新潮社

*その他、図書室掲示板にてお知らせしています

— 寄 贈 —

●丸尾誠様（著者）より

『現代中国語方向補語の研究』白帝社

●温又柔様（エッセイ執筆者）より

『NHKスペシャル故宮』NHK出版

●納村公子様より

『漢日医学大辞典』人民卫生出版社／『中国图案大系』

山东美術出版社

●匿名の皆様より

DVD『锦衣卫』『神醫喜来楽』『朱元璋』

どうも有難うございます

倉石賞記念連続講演会

— 倉石武四郎先生没後40年を記念して —

今年は倉石武四郎先生が逝去されて40年を迎えます。没後40年にあたり、連続講演会活動等を企画しています。

第三弾となる最終回は、TBSラジオでおなじみの武田一顯記者をお迎えし、ご講演頂きます。

武田氏にとって日中学院は中国語の「母校」という事で、今回の講演依頼をご快諾下さいました。

中国特派員を務められたご経験もあり、日本と中国の情勢に通じていらっしゃる同氏に、「倉石記念講演会」の締めを飾っていただきます。

第三弾：「国会王子」武田一顯記者講演会

時 期：2015年2月21日（土）13:00～15:00

場 所：日中学院

対 象：どなたでもご参加頂けます。

参加費：無料

※参加ご希望の際は、事務局にご一報ください。

講演内容：中国と日本 いまとこれから

武田一顯（たけだ かずあき）氏

TBSラジオ & コミュニケーションズ編成局制作センター所属の放送記者。早稲田大学第一文学部中国文学専修。大学在学中に香港中文大学に一年留学。日中学院別科においても中国語の研鑽を積んだ。「国会王子」のニックネームの通り、国会担当記者として活躍すると同時に、中国関係の取材にも力を入れている。担当番組多数。

1月の日中学院

日	一	二	三	四	五	六
				1	2	3
4	5	6 ●仕事始め・開門	7	8	9 ●別科公開講座 18:45～ (入門/基礎)	10 ●本科研究科・ 別科授業開始 ●別科公開講座 13:00～ (入門/基礎)
11	12 ●成人の日	13 ●本科・日本語科 授業再開	14	15 ●中国語検定受付 開始(～15日)	16 ●本科2次募集 締切	17
18 ●本科2次試験	19	20 ●本科2次 合格発表	21 ●本科3次 受付開始 ●日本語科 国会見学	22	23	24
25	26	27	28	29 ●本科・日本語科 スポーツ大会	30	31 ●本科生のための 公開講座 (9:30～)
●2月の日中学院 ・10日…本科・日本語科合同弁論大会 ・11日…本科・日本語科・別科通常授業 ・15日…本科3次試験 別科 1日集中講座			・17日…本科3次合格発表 ・18日…本科4次受付開始 日本語科 春節パーティ ・19日…本科 定期試験(～25日) ・21日…倉石賞記念講演会 武田一顯先生		・23日…日本語科 定期試験(～27日) ・26日…藤堂先生命日 ・27日…日本語科授業最終日	

■耳目

●シャンチー(中国象棋)初心者講習会

中国生まれの盤上ゲーム「シャンチー」はチェスや日本将棋のルーツともいわれ、愛好者は世界中に5億人とも言われています。このシャンチーの遊び方を初歩から丁寧に解説します。

◆日時：2015年2月1日(日) 10:00～14:00

◆会場：目黒区民センター

◆内容：午前 コマの動かし方
午後 勝の方法と実践

◆費用：1,000円(コマ付き・教材費込み)

◆申し込み：ハガキまたはメールで「シャンチー初心者講習会」と明記、郵便番号、住所、氏名、電話番号を書いて〒167-0033 東京都杉並区清水3-31-6-108 (e-mail:jxiangqi@hotmail.com)

日本シャンチー協会事務局へ。

1月24日(土) 必着

◆定員：20名

◆問い合わせ：電話080-5644-5511
(日本シャンチー協会・山田)

●映画公開情報：『真夜中の五分前』

12月27日(土) 全国ロードショー

上海に来て一年半ほどの三浦春馬さん演じる日本人青年リョウトと、劉詩詩さん演じる年上の美しい双子の姉妹が出会ったことから展開するサスペンスタッチのラブストーリーです。

主演の三浦春馬さんは劇中でも中国語で演じています。

今回、幸いにも日中学院では三浦さんの日本での中国語学習のお手伝いをさせていただき事が出来ました。素敵な映画ですので是非ご覧ください。



©2014 "Five Minutes to Tomorrow" Film Partners

○感謝状が届きました

日中学院では、世界中の貧困、紛争などの厳しい状況下の子供たちの命と健やかな成長を守るユニセフ(国連児童基金)募金に協力させていただき、感謝状を頂きました。

■編集後記

日中学院では毎年、2回の"新年好!"があります。楽しいお正月が2回あるなんて、得をした気分になる季節です。